



猛暑でも安心
1月30日から2月19日にかけて西病棟ストレスケアセンター病室のエアコンが入れ替わった。開設から15年、フル回転で使われてきただけあり、近年経年劣化による故障が相次いでいた。そのために修理をしながら使ってきたがいよいよ限界との判断で全56台が入れ替わることとなった。

エアコン総入れ替え

西病棟の有馬新路課長は「患者さんに迷惑が掛かるので、少しでも不具合があるとその部屋は修理が終わるまで使用できない。これで安心して次の夏を迎えられる」とほっとした様子を見せた。

◆楽山ぶりん「ブレみや」に
就労支援施設「楽山杜の会」で作られる「楽山ぶりん」がこのほどネクスコ中日本のオリジナルお土産ブランド「ブレみや」に選ばれた。「ブレみや」とは地域産品を主要材料に使用するなどの認定項目を満たす優れた商品に与えられるもので、養老S.Aでは今回唯一の選定となった。販売を担当する伊藤充さんは「メンバーさんたちが積極的に対面販売を行った結果、大変うれしい」と話した。



「今年の夏は涼しく過ごせます」と暑苦しい顔で話す有馬課長。



私たちが味のチェックをしています！はい。毎日です！



悲しげな表情をみせる晩年の「元(げん)」と「タロー」

◆馬小屋が駐車場に
楽山の名物でもあった馬小屋がこのほど駐車場に生まれ変わる事となった。この馬小屋、平成13年の開設時は日本でも珍しい木曾馬二頭(元と陽)が飼われており、その後ポニー(タロー)になり、平成28年には愛知県の牧場に買い取られていった。当時を知るスタッフは「世話が大変だったの、正直助かった」と懐かしむ。その後はヨモギ畑がうまうと試みるも世話がうまくいかず失敗。結局生まれ変わる事になった。

◆楽山ぶりん「ブレみや」に

就労支援施設「楽山杜の会」で作られる「楽山ぶりん」がこのほどネクスコ中日本のオリジナルお土産ブランド「ブレみや」に選ばれた。「ブレみや」とは地域産品を主要材料に使用するなどの認定項目を満たす優れた商品に与えられるもので、養老S.Aでは今回唯一の選定となった。販売を担当する伊藤充さんは「メンバーさんたちが積極的に対面販売を行った結果、大変うれしい」と話した。

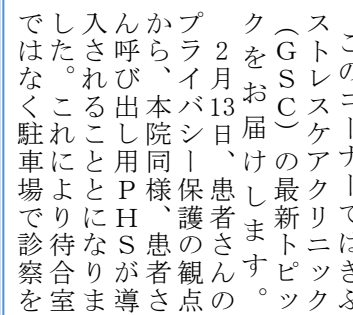
◆馬小屋が駐車場に

楽山の名物でもあった馬小屋がこのほど駐車場に生まれ変わる事となった。この馬小屋、平成13年の開設時は日本でも珍しい木曾馬二頭(元と陽)が飼われており、その後ポニー(タロー)になり、平成28年には愛知県の牧場に買い取られていった。当時を知るスタッフは「世話が大変だったの、正直助かった」と懐かしむ。その後はヨモギ畑がうまうと試みるも世話がうまくいかず失敗。結局生まれ変わる事になった。

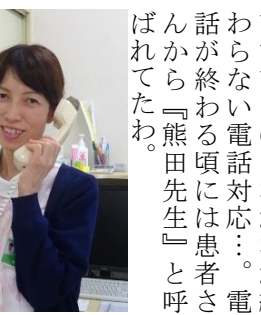


発行所
社会医療法人 緑峰会
養 南 病 院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
✉ younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケア クリニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-4-1
☎058-274-9600



◆アフリで
私の名前はリトルアン。職員さんが蘇生技術を磨き上げるために購入された半身の人形なの。アプリと連動して、蘇生技術が数字で出てくるもんだから職員さんで、やたらと私を連れ出しては練習してるのよ。養南病院の職員さんにかかれば蘇生は100%ってところかしらうふ。



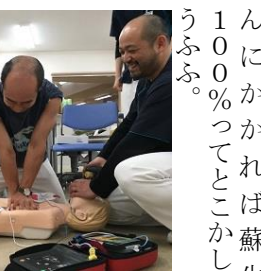
自慢の筋肉を見せつけながら蘇生の練習をする小寺係長

◆吉田主任GSCへ
2月1日付で常勤の職員としては初の養南病院からGSCへの異動となった看護士の吉田主任。養南病院とGSCをより密接に結び架け橋となる吉田主任の最後の養南での勤務日、周辺には綺麗な虹がかかっていた。



満面の苦しい右田さん

◆家族教室
2月16日(日)、統合失調症の家族教室が開催され22名の参加があった。「リカバリー」と題して講演を行った作業療法課の林昌吾課長は「生活や睡眠のリズムを整えたり、運動や呼吸で気分を整えたり自分にあったものを試してみることも良い。また、ストレスを感じた際の対処法を事前に書き出しておくことも大切」と語った。



自慢の筋肉を見せつけながら蘇生の練習をする小寺係長

◆家族教室
2月16日(日)、統合失調症の家族教室が開催され22名の参加があった。「リカバリー」と題して講演を行った作業療法課の林昌吾課長は「生活や睡眠のリズムを整えたり、運動や呼吸で気分を整えたり自分にあったものを試してみることも良い。また、ストレスを感じた際の対処法を事前に書き出しておくことも大切」と語った。



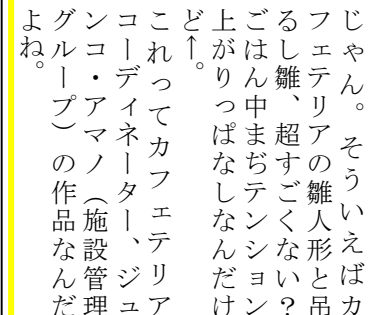
満面の苦しい右田さん

◆家族教室
2月16日(日)、統合失調症の家族教室が開催され22名の参加があった。「リカバリー」と題して講演を行った作業療法課の林昌吾課長は「生活や睡眠のリズムを整えたり、運動や呼吸で気分を整えたり自分にあったものを試してみることも良い。また、ストレスを感じた際の対処法を事前に書き出しておくことも大切」と語った。



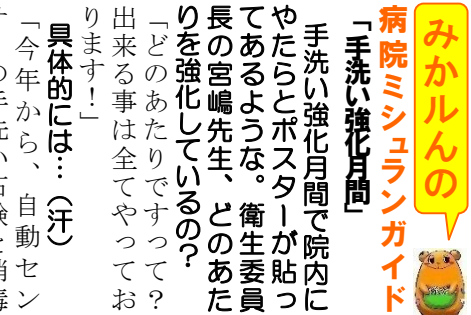
自慢の筋肉を見せつけながら蘇生の練習をする小寺係長

◆家族教室
2月16日(日)、統合失調症の家族教室が開催され22名の参加があった。「リカバリー」と題して講演を行った作業療法課の林昌吾課長は「生活や睡眠のリズムを整えたり、運動や呼吸で気分を整えたり自分にあったものを試してみることも良い。また、ストレスを感じた際の対処法を事前に書き出しておくことも大切」と語った。



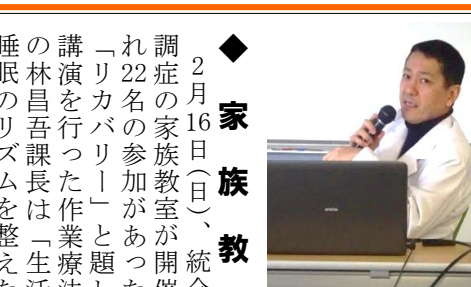
悲しげな表情をみせる晩年の「元(げん)」と「タロー」

◆家族教室
2月16日(日)、統合失調症の家族教室が開催され22名の参加があった。「リカバリー」と題して講演を行った作業療法課の林昌吾課長は「生活や睡眠のリズムを整えたり、運動や呼吸で気分を整えたり自分にあったものを試してみることも良い。また、ストレスを感じた際の対処法を事前に書き出しておくことも大切」と語った。



自慢の筋肉を見せつけながら蘇生の練習をする小寺係長

◆家族教室
2月16日(日)、統合失調症の家族教室が開催され22名の参加があった。「リカバリー」と題して講演を行った作業療法課の林昌吾課長は「生活や睡眠のリズムを整えたり、運動や呼吸で気分を整えたり自分にあったものを試してみることも良い。また、ストレスを感じた際の対処法を事前に書き出しておくことも大切」と語った。



自慢の筋肉を見せつけながら蘇生の練習をする小寺係長